

保健・医療・福祉の現状

令和 7 年 5 月

秋田県健康福祉部

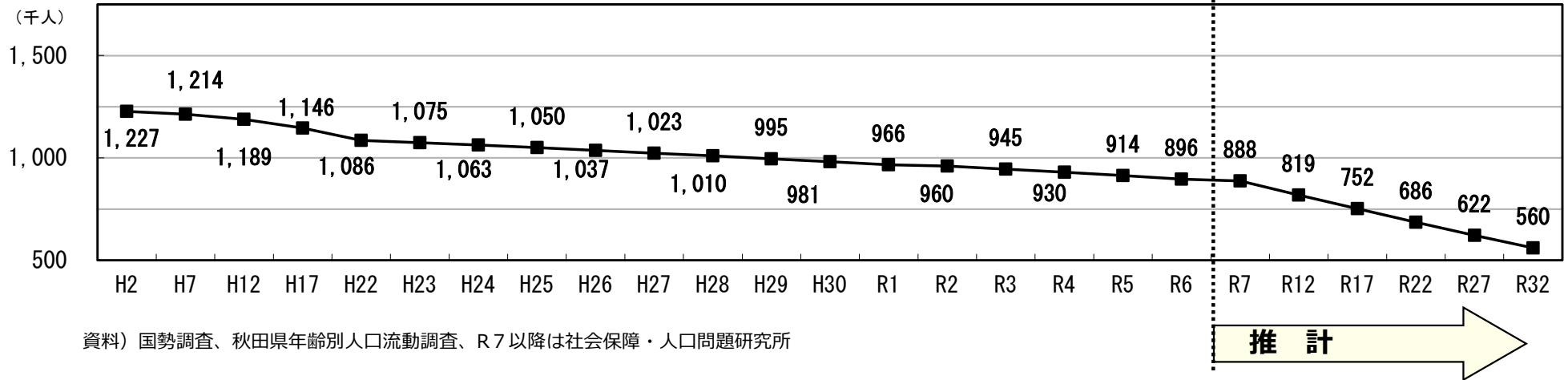
目次

1.	人口	・ ・ ・ ・ ・	1
2.	生活保護	・ ・ ・ ・ ・	2
3.	高齢者	・ ・ ・ ・ ・	3
4.	障害者	・ ・ ・ ・ ・	5
5.	健康	・ ・ ・ ・ ・	7
6.	医療	・ ・ ・ ・ ・	1 1
7.	医療介護需要予測指数	・ ・ ・	1 3
参考.	地域幸福度指標	・ ・ ・ ・ ・	1 4
参考.	新秋田元気創造プラン		
	（健康福祉部関連）	・ ・ ・ ・ ・	1 7

1. 人口

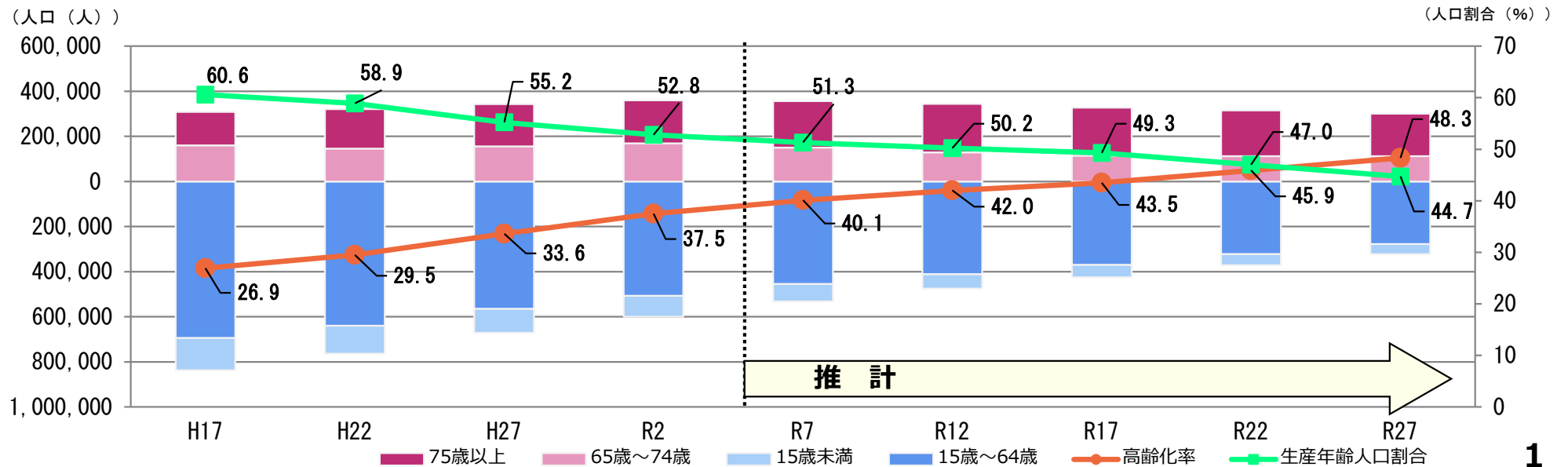
◀ 県人口 ▶

- 人口は令和32（2050）年には60万人を割る見込み。



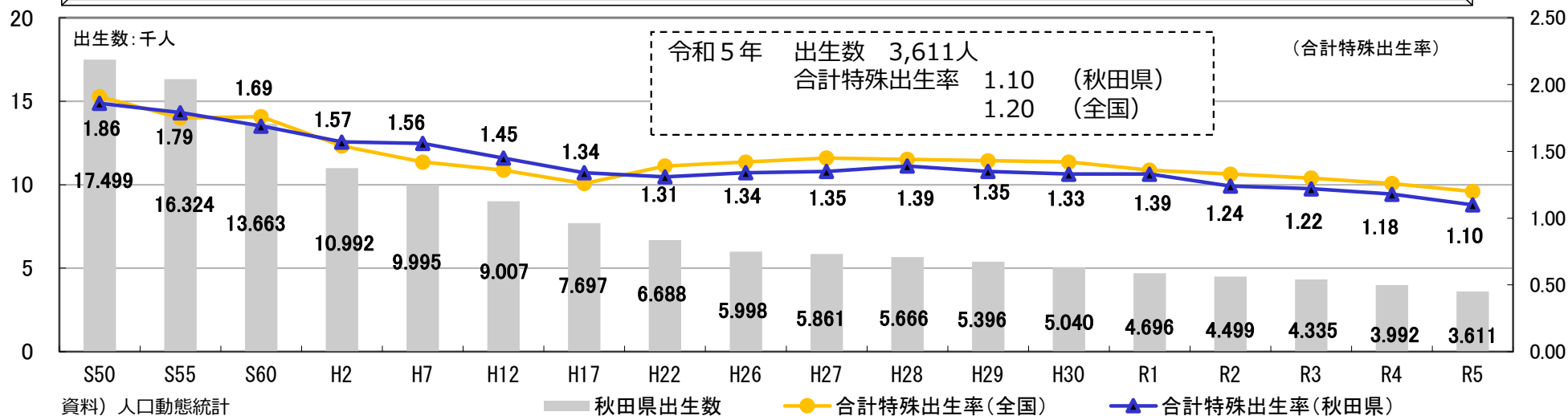
◀ 年齢区分別人口 ▶

- 令和27（2045）年には高齢者人口が生産年齢人口を上回る見込み。



出生数・合計特殊出生率

- 出生数は、平成7年に1万人を割った後も減少を続け、令和4年には4千人を割った。
- 合計特殊出生率は、全国平均を下回っている。

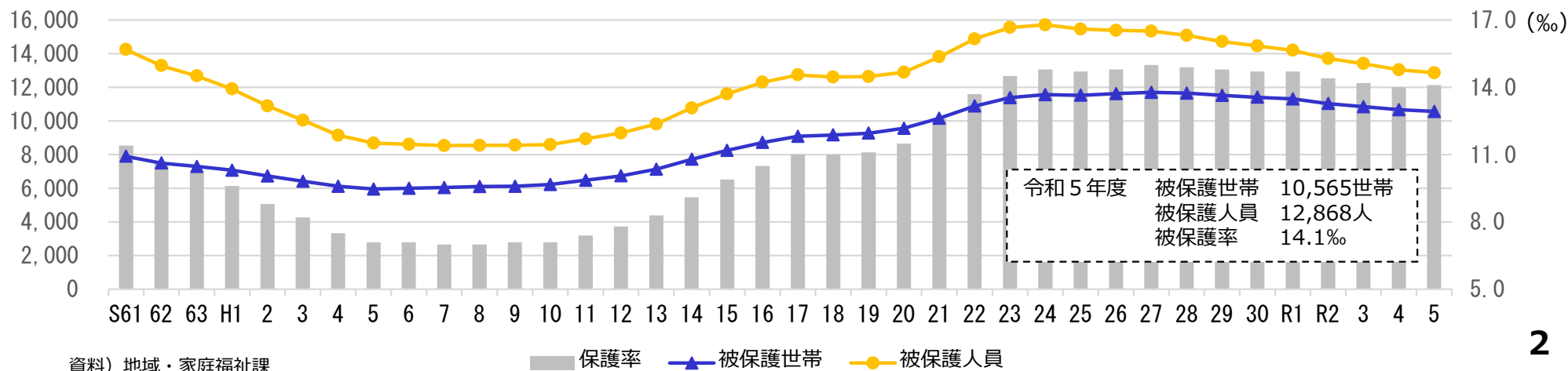


2. 生活保護

被保護率、被保護人員・世帯

- 被保護人員・世帯数は微減が続くも、人口減少により令和5年度の被保護率が微増に転じた。

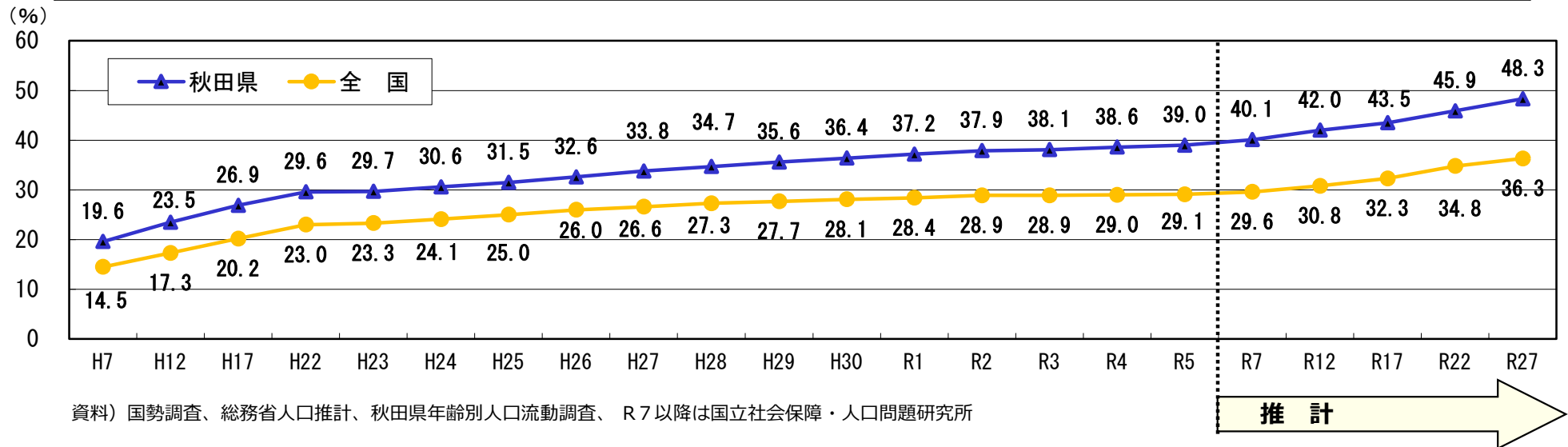
(人・世帯)



3. 高齢者

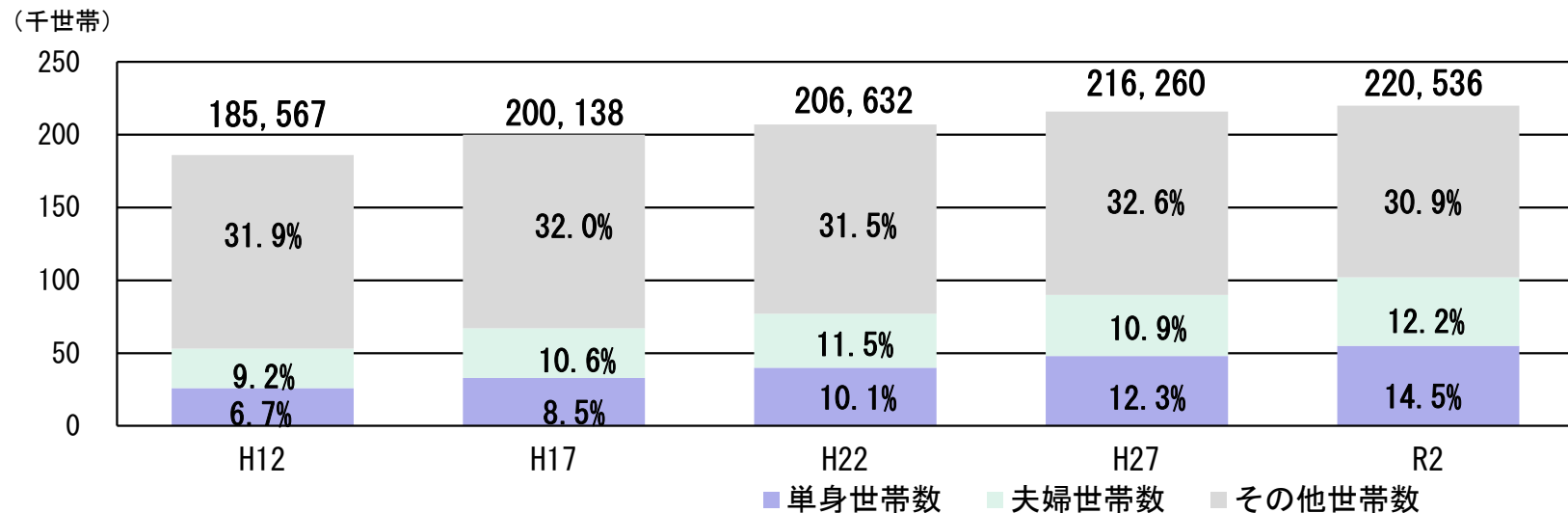
≪ 高齢化率 ≫

● 高齢化率は上昇を続け、令和22（2040）年には45%を超える見込み。



≪ 高齢者のいる世帯数 ≫

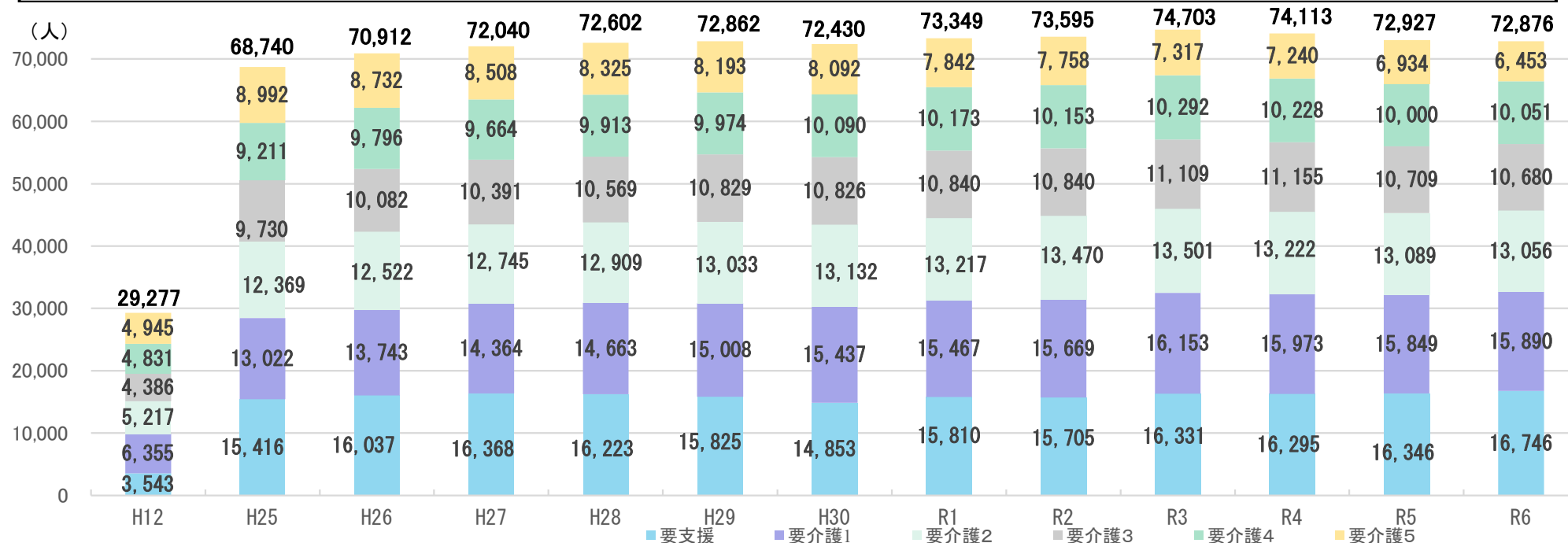
● 高齢者のいる世帯数は年々増加している。



注) 「単身世帯」は高齢者のひとり暮らし世帯、「夫婦世帯」は夫婦ともに65歳以上の世帯。割合は総世帯数に占める割合。(資料) 国勢調査

<< 要支援・要介護認定者数 >>

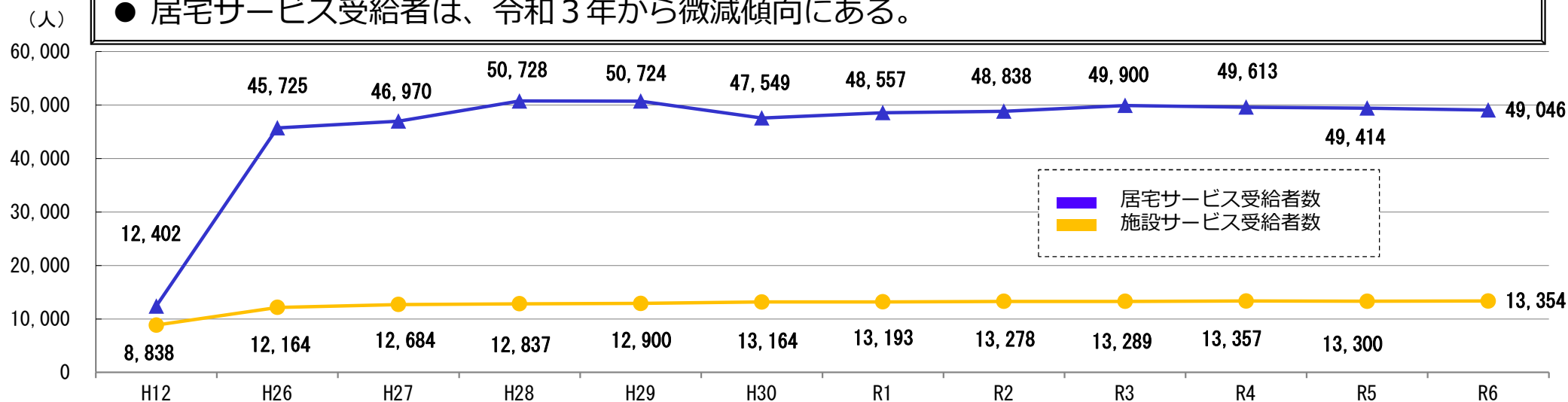
● 要支援・要介護認定者は、令和3年をピークに少しずつ減少している。



(注) 第1号被保険者と第2号被保険者の合計 (資料) 介護保険事業状況報告 (各年4月現在)

<< サービス別利用者数 >>

● 居宅サービス受給者は、令和3年から微減傾向にある。

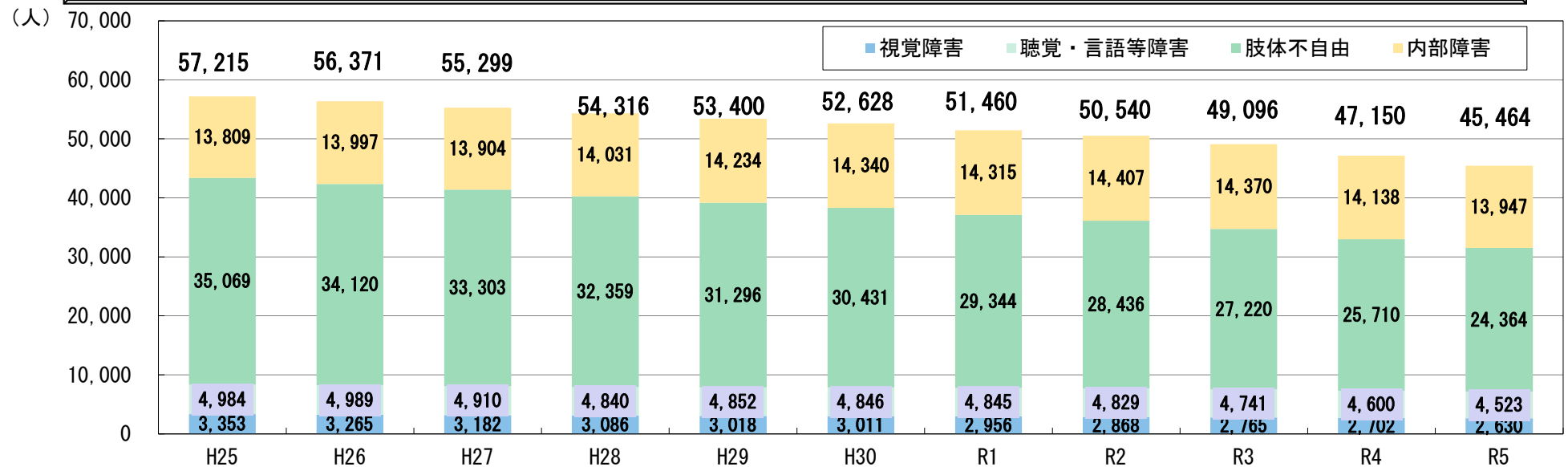


注) 居宅サービス受給者：居宅介護（介護予防）サービス受給者数と地域密着型（介護予防）サービス受給者数の合計
 資料) 介護保険事業状況報告（各年4月現在）ただし、地域密着型介護老人福祉サービスを除いて計上

4. 障害者

≪ 身体障害者数（障害別） ≫

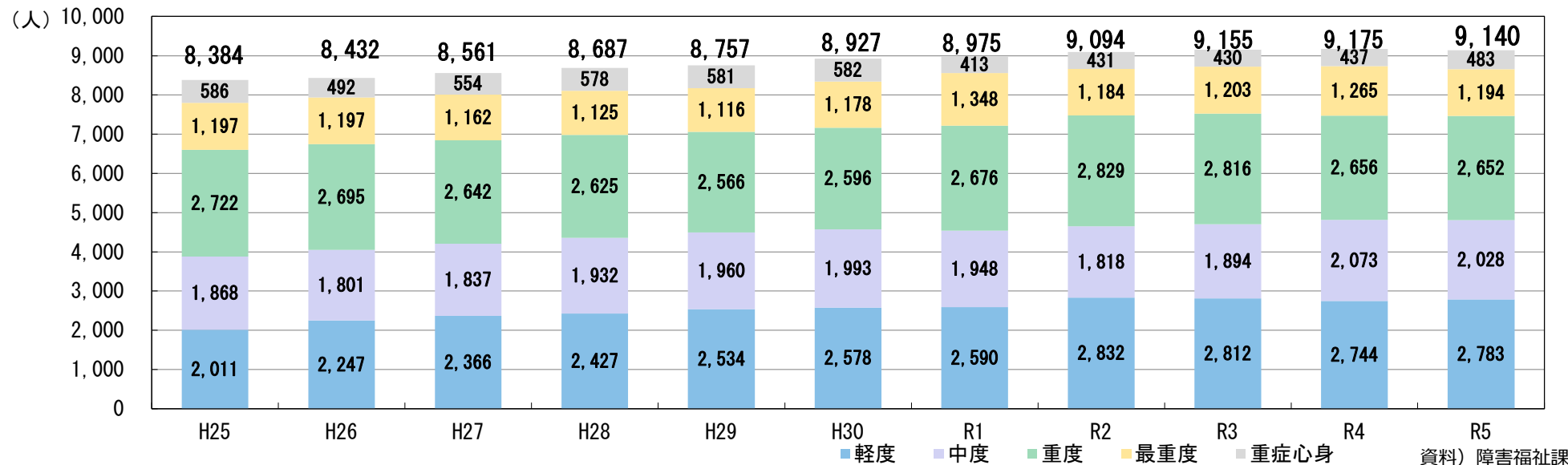
● 肢体不自由が最も多く、半数以上を占めている。



≪ 知的障害者数 ≫

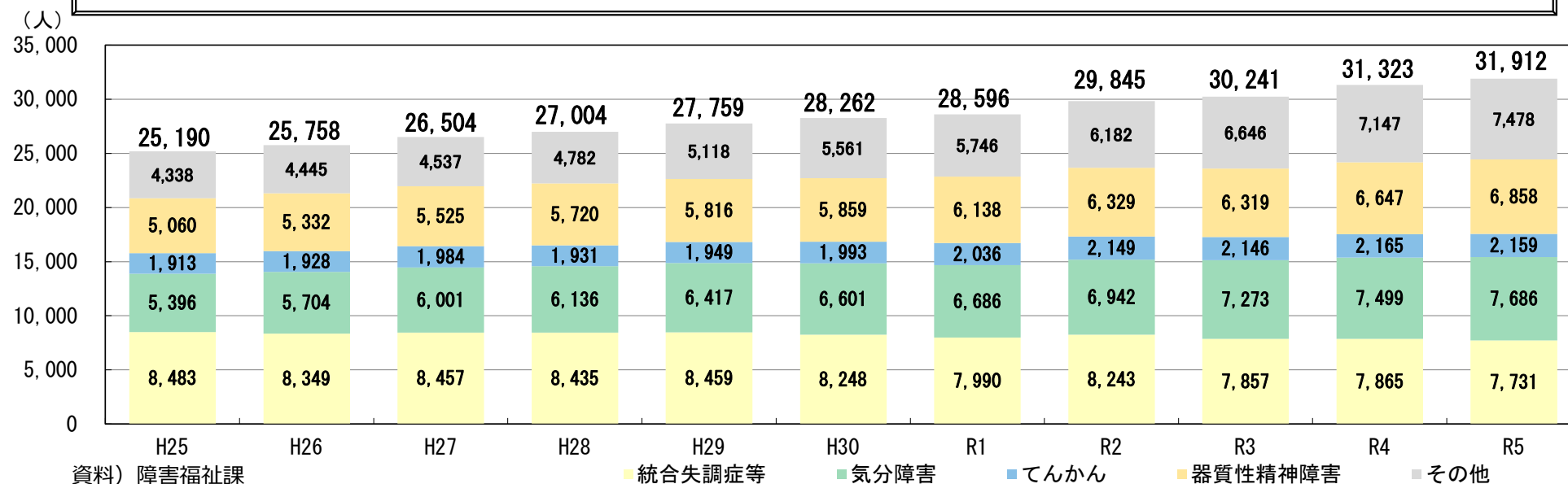
資料) 障害福祉課

● 全体の半数程度が重度以上の障害を有している。



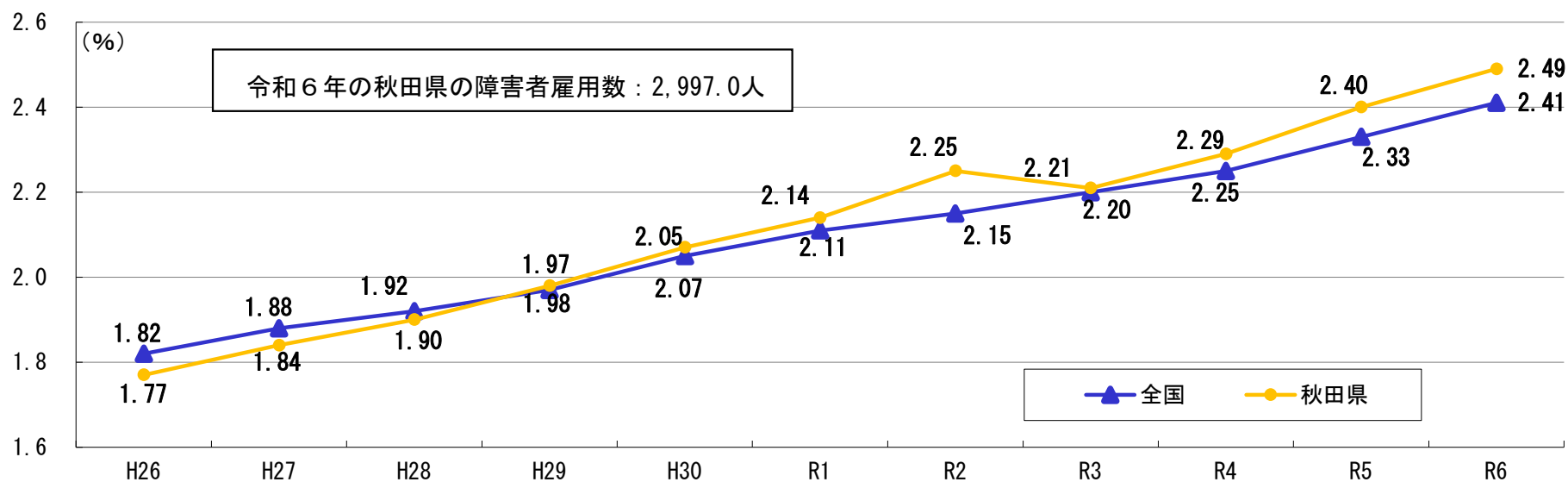
精神障害者数

- 精神障害者は、気分障害（うつ病等）などを中心に増加傾向にある。



障害者の雇用率

- 雇用率は過去最高を更新し、全国よりも高い水準となっている。

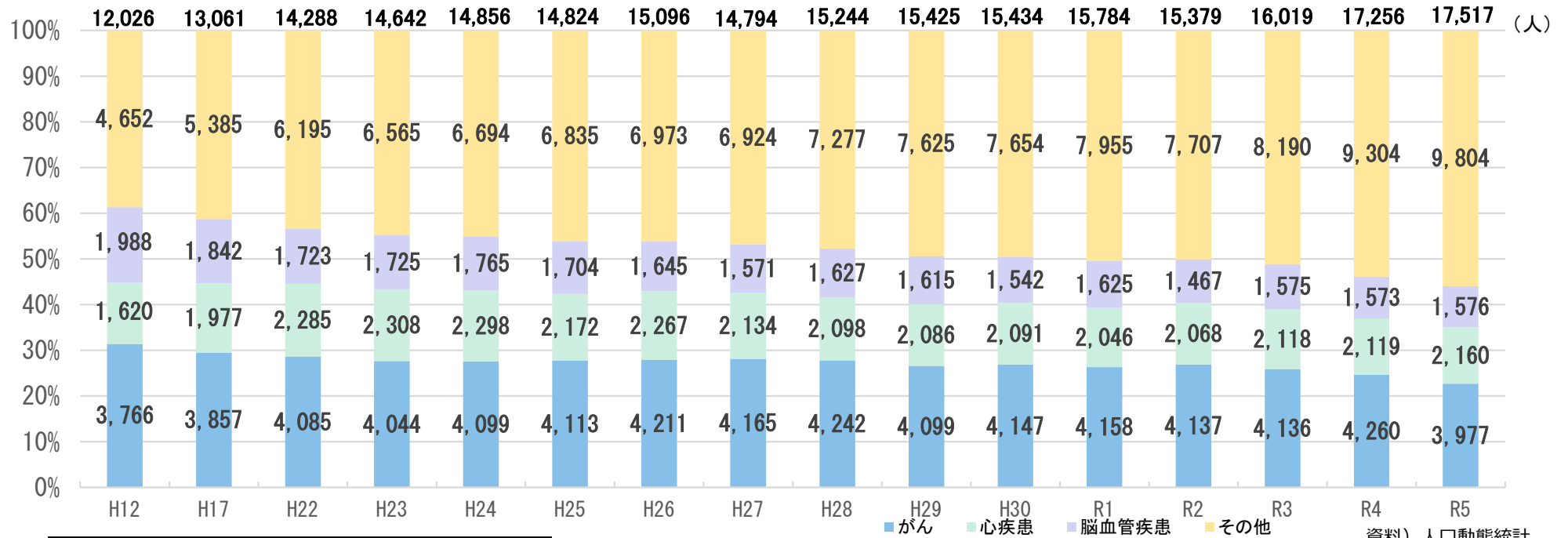


資料) 厚生労働省秋田労働局 R6.12.20 令和6年障害者雇用状況の集計結果 ※全国数値との比較のため、民間企業データのみ

5. 健康

≪ 死因別の死亡数 ≫

- 三大疾患による死亡数が全体の半数近くを占めている。



≪ 令和5年三大疾患の状況 ≫

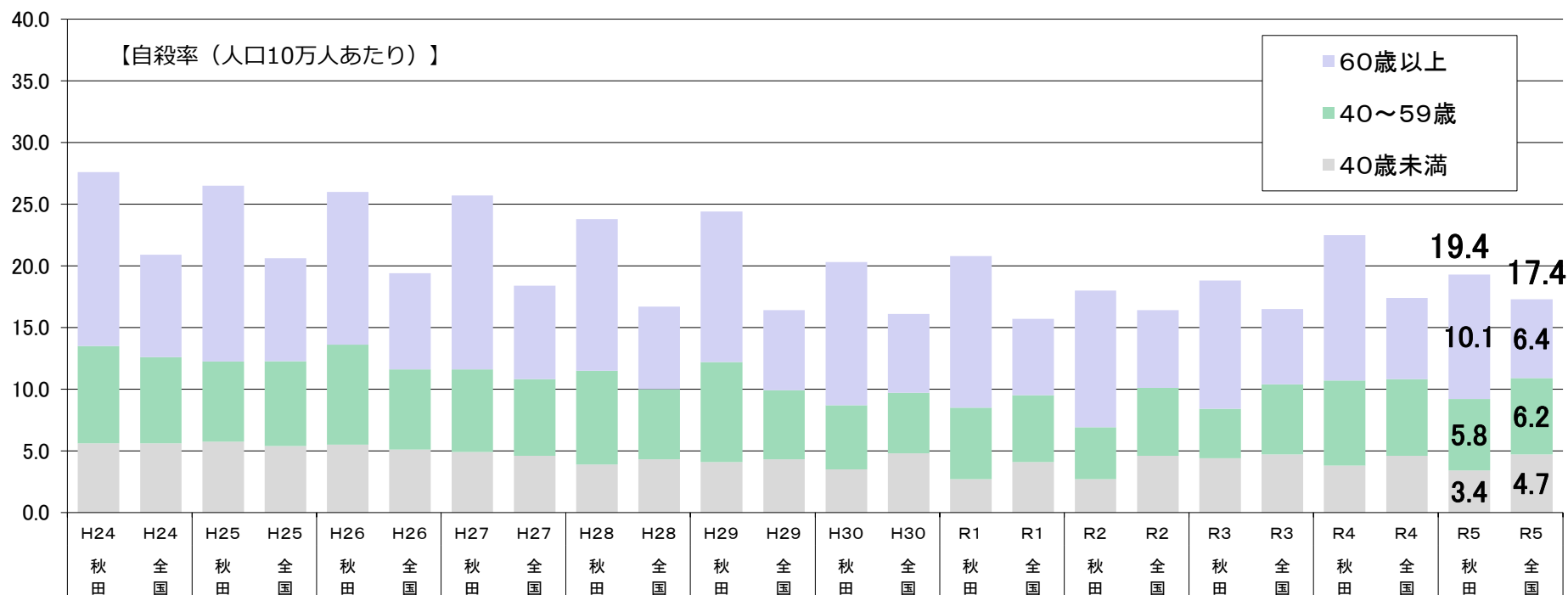
- がん及び脳血管疾患の死亡率が全国第1位となっている。

区分	が ん	脳血管疾患	心疾患
秋田県の状況	437.5 (1位)	173.4 (1位)	237.6 (11位)
全国平均	315.6	86.3	190.7
全国の状況 (高率県)	①秋 田 (437.5) ②青 森 (429.5) ③北海道 (403.4)	①秋 田 (173.4) ②岩 手 (160.8) ③新 潟 (129.3)	①山 口 (284.2) ②愛 媛 (275.5) ③和歌山 (275.1)

(率・人口10万人対)
資料) 人口動態統計

<< 自殺率 >>

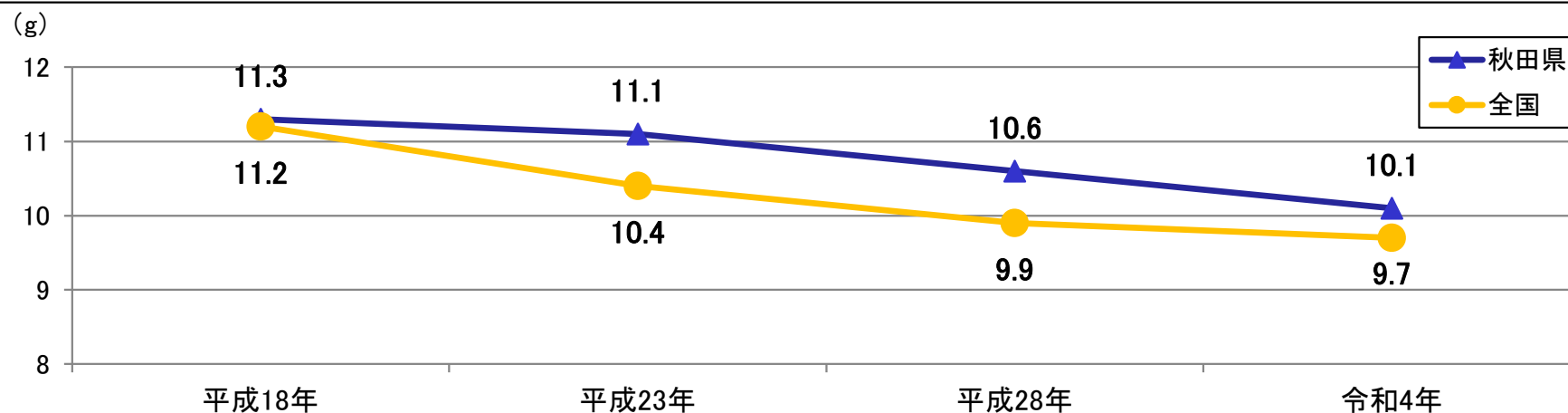
- 全国と比べると、依然として高い水準で推移している。



資料) 人口動態統計

<< 食塩摂取量の状況 >>

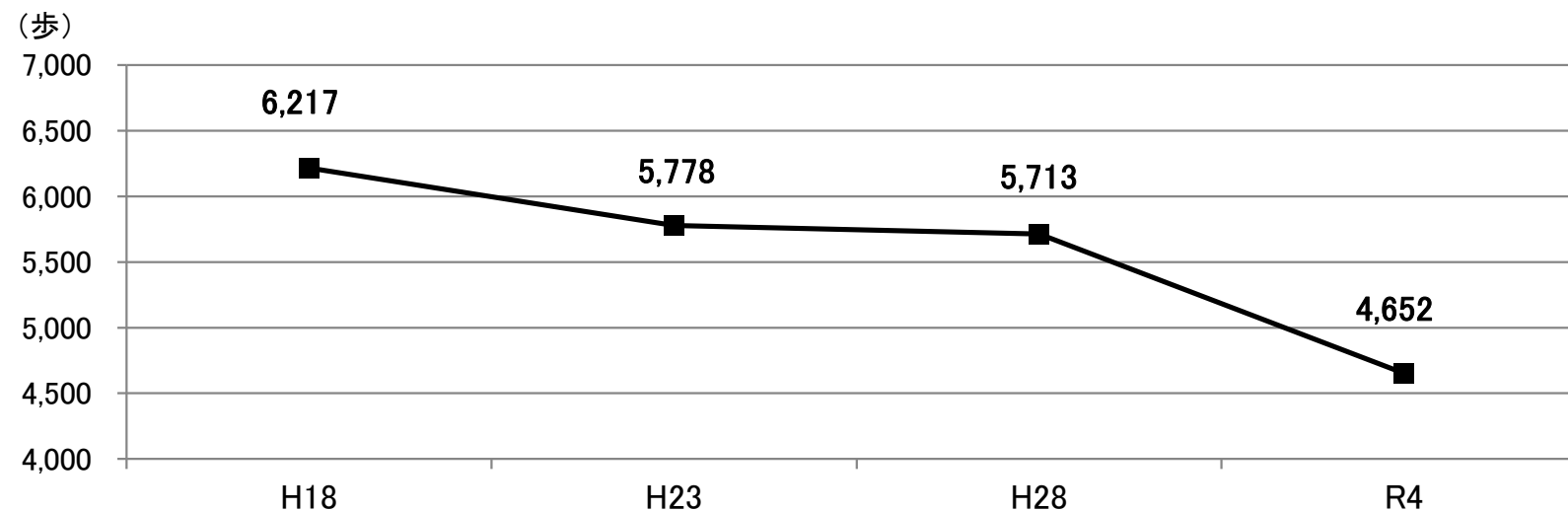
- 減少傾向にあり、全国平均との差は縮まってきている。



資料) 国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査

<< 1日あたり歩数 >>

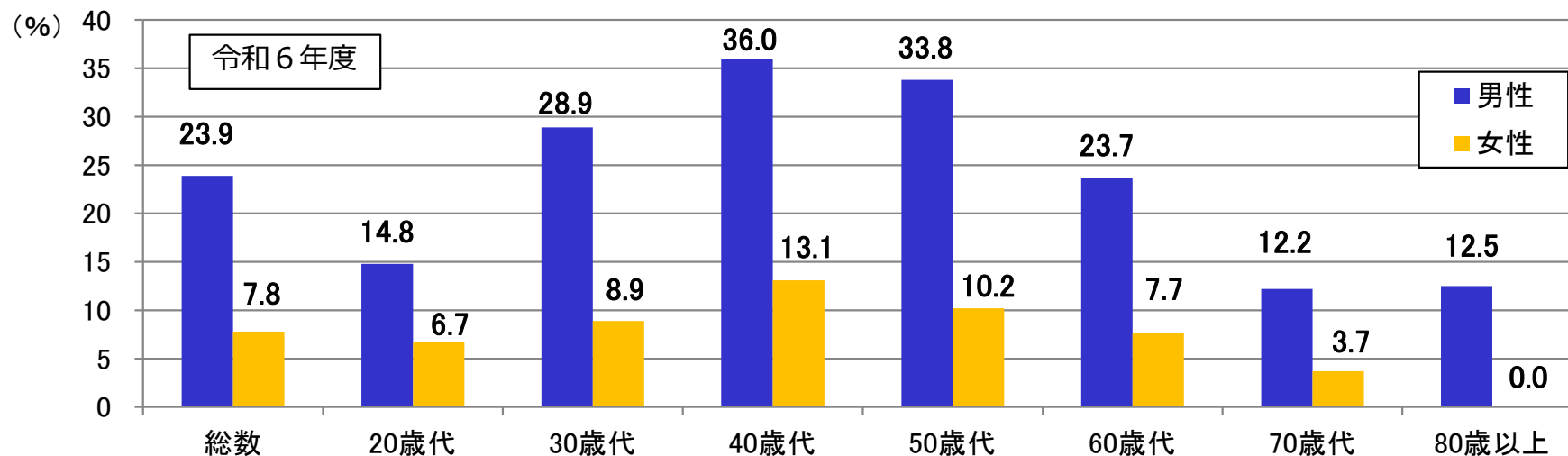
- 減少傾向にあり、特に令和4年において大きく減少している。



資料) 県民健康・栄養調査

<< 喫煙率 >>

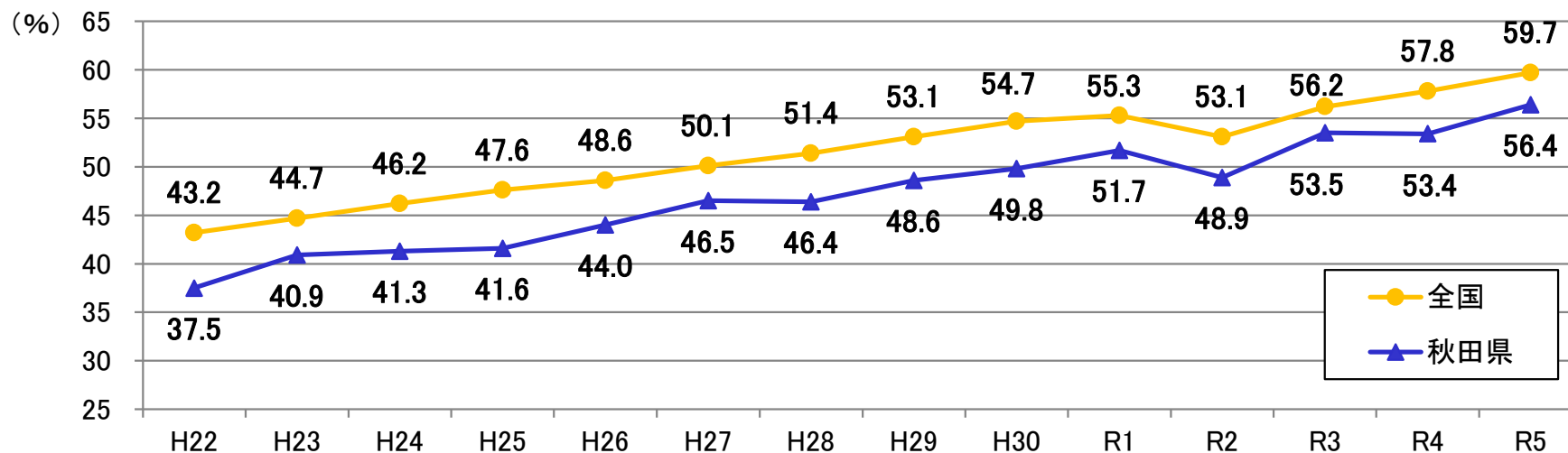
- 特に30歳代～50歳代男性の喫煙率が高い。



資料) 健康づくりに関する調査(秋田県) (令和6年度)

<< 特定健診受診率 >>

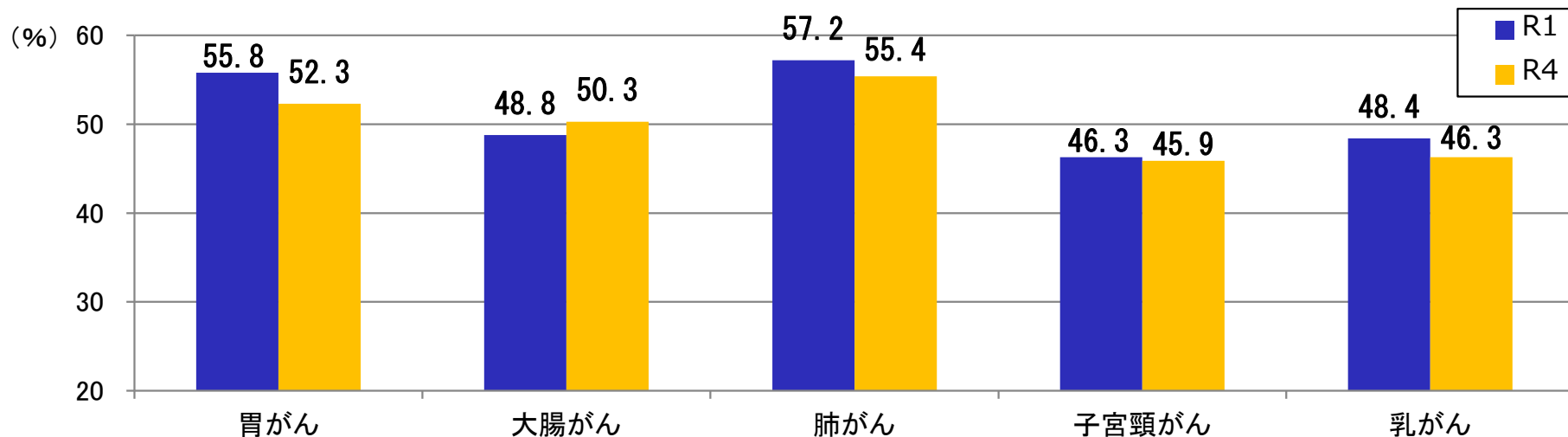
● 全国平均を下回っている。



資料) 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

<< がん検診受診率 >>

● 多くの部位で減少傾向にある。



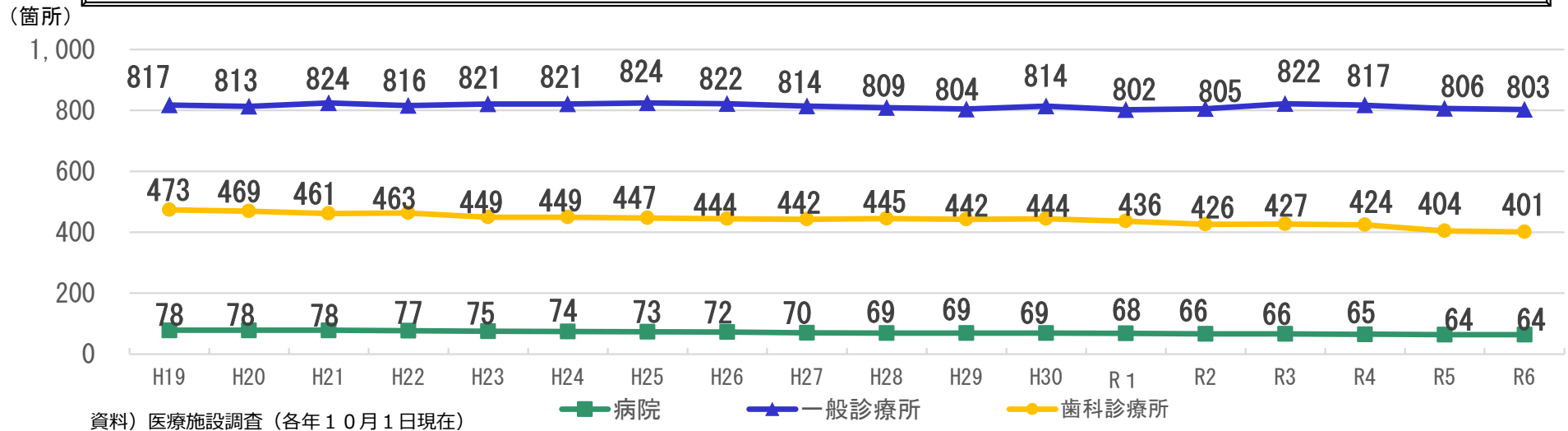
資料) 国民生活基礎調査

※受診率の算定対象年齢は、「がん対策推進基本計画」及び「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、40～69歳（胃がん検診は50～69歳、子宮頸がんは20～69歳）としている。

6. 医 療

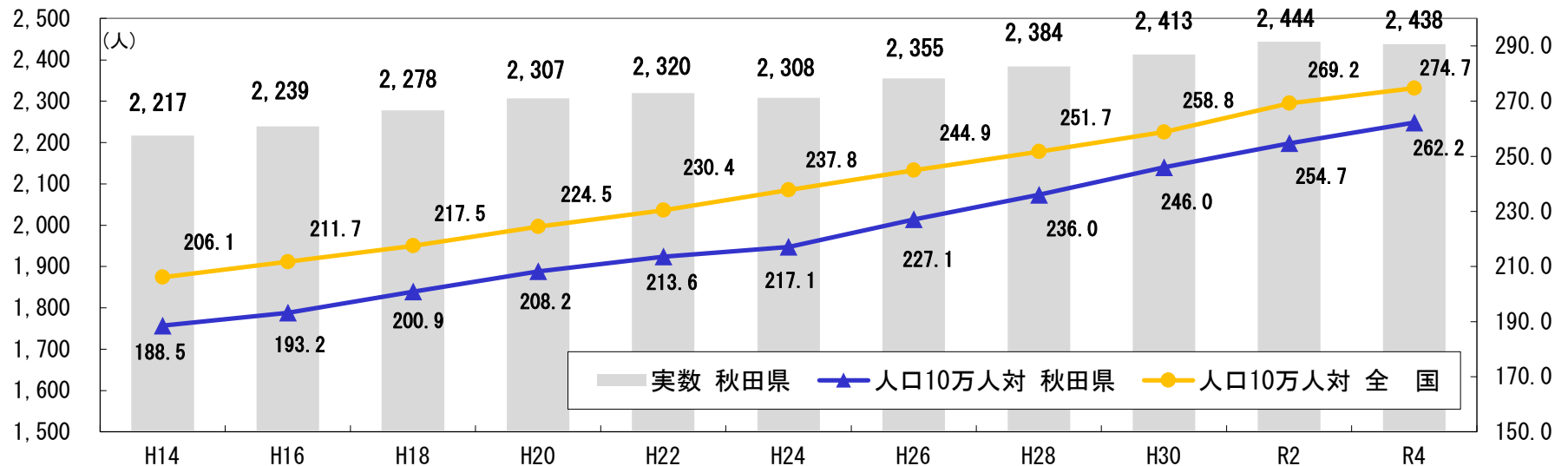
≪ 医療施設数 ≫

● 診療所数は横ばい、病院、歯科診療所数は緩やかな減少傾向にある。



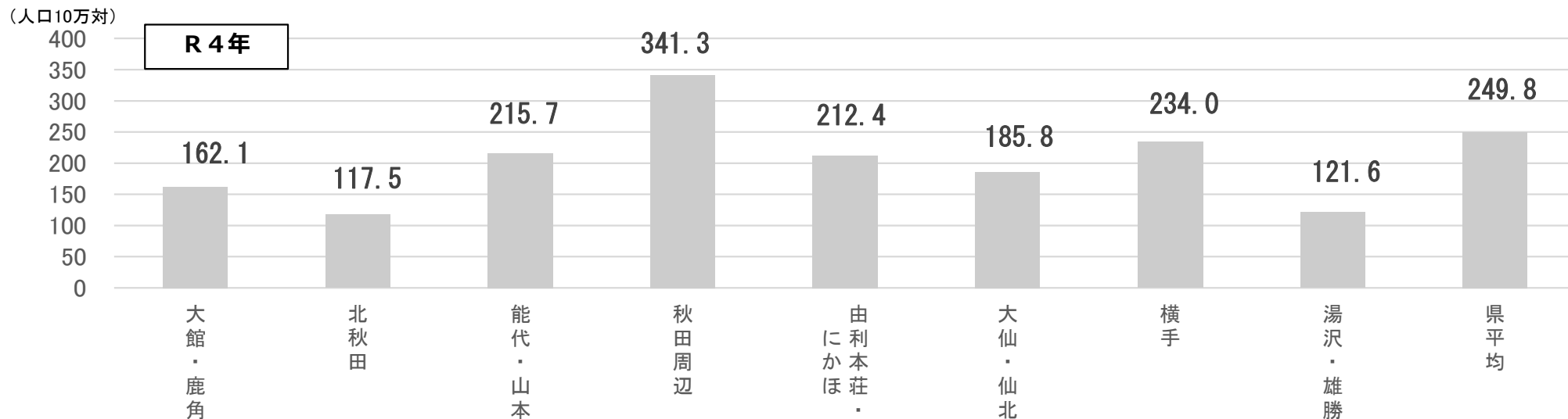
≪ 医師数 ≫

● 医師数は増加傾向にあったが、令和 4 年に減少に転じ、全国平均を下回っている。



<< 地域別（旧二次医療圏別）医療施設従事医師数 >>

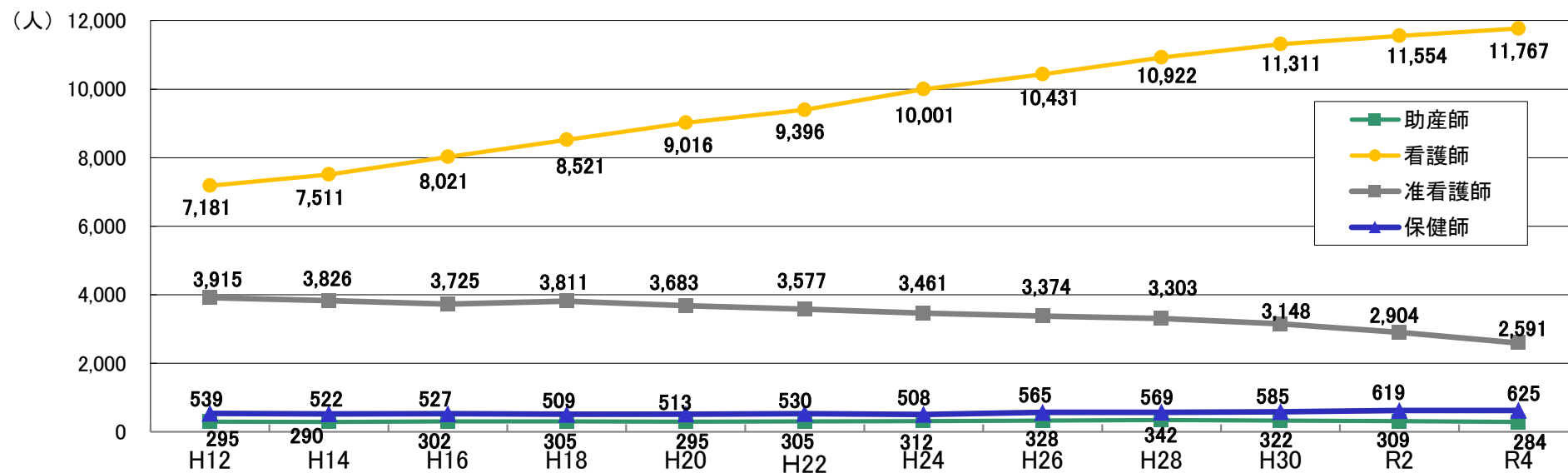
● 秋田周辺地域が最も多く、地域偏在が顕著になっている。



資料) 医師・歯科医師・薬剤師統計（隔年12月末現在）

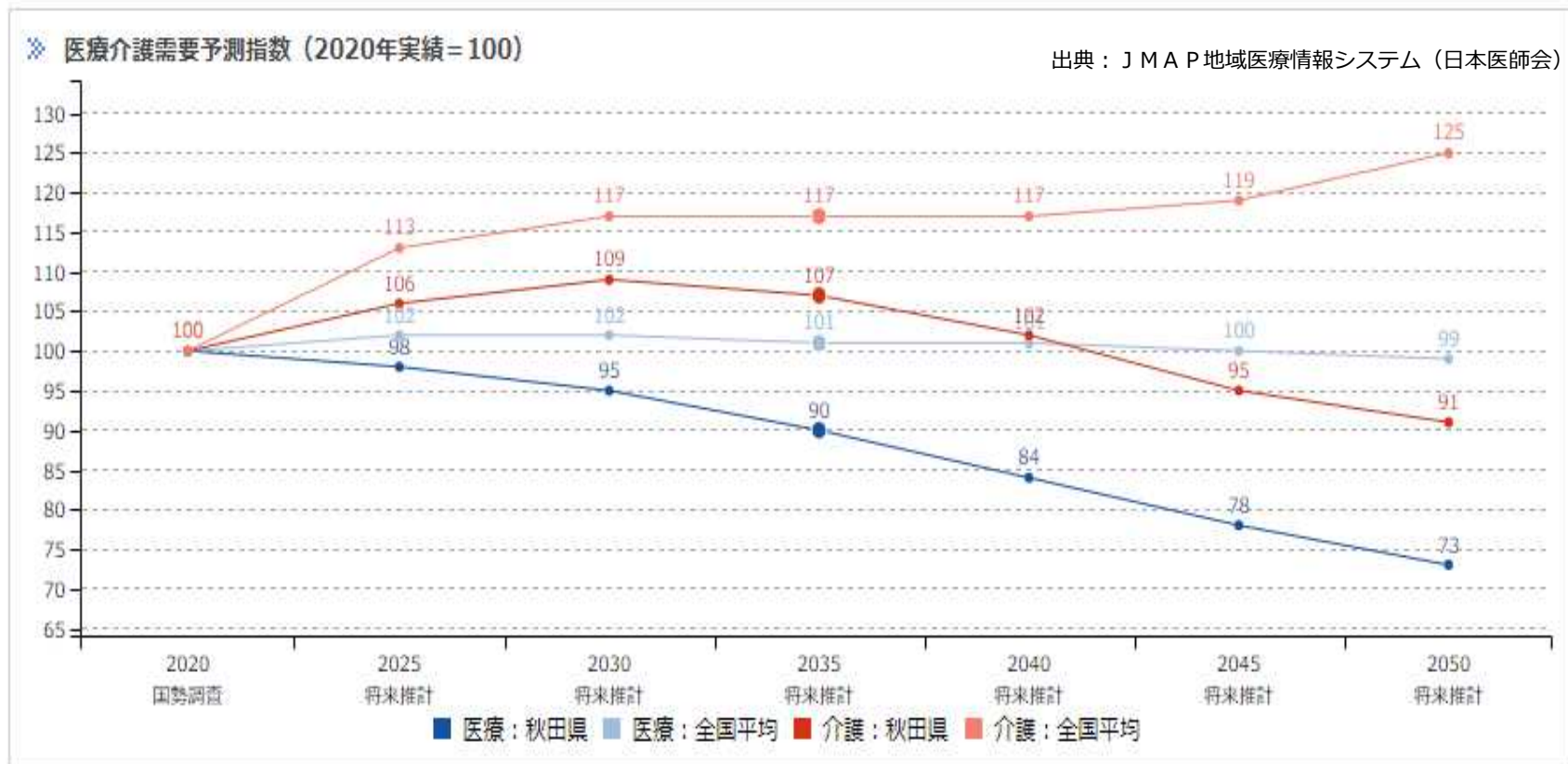
<< 医療従事者数 >>

● 看護師数は増加傾向にあるが、看護職員全体では令和4年に減少に転じた。



資料) 衛生行政報告例

7. 医療介護需要予測指数



【概要】

- 医療需要については、全国平均では2050年までほぼ横ばい傾向である一方、本県では既にピークアウトしており、中長期的には大幅な減少が見込まれている。
- 介護需要については、全国平均では2050年まで大幅に増加すると予想される。本県では2030年頃にピークを迎え、その後、徐々に減少することが見込まれている。
- また、県北・県南地域の医療介護需要は更に落ち込むことが予想される。
→ 需要のピーク期は異なるが、長期的には医療・介護ともに減少することが見込まれていることから、当面のサービス提供体制を維持しつつも、持続可能性の構築を図る施策が必要

参考．地域幸福度（Well-Being）指標

「地域幸福度（Well-Being）指標」とは、その地域に住む人たちがどれくらい「幸せ」を感じていて、その「幸せ」を支える地域の環境がどれくらい「暮らしやすい」かを、数字でわかりやすく表したものだ。デジタル庁が推進しており、以下の2つの種類のデータから構成されている。

○ 主観指標（アンケートデータ）：「今、あなたはどのくらい幸せですか？」「あなたの地域の暮らしにどのくらい満足していますか？」「周りの人も楽しい気持ちでいると思いますか？」といった、住民が実際に感じる「幸福度」や「生活満足度」を直接尋ねるアンケートの結果。

○ 客観指標（オープンデータ）：健康状態（例：健康寿命、平均寿命）、医療・福祉（例：医療機関数、介護・児童・障害者施設数、ホームヘルパー数）、教育環境（例：学校数、学力テストの結果）、住宅環境（例：住宅の広さ、持ち家率）、地域のつながり（例：ボランティア参加率、自治会加入率） など、オープンデータから、地域の「暮らしやすさ」を客観的に測ったもの。

地域幸福度（Well-Being）指標は、地域の「暮らしやすさ」と住民の「幸福感」を数字で可視化する住民のアンケート（主観）と地域のデータ（客観）により、地域の特徴を把握するためのツール。

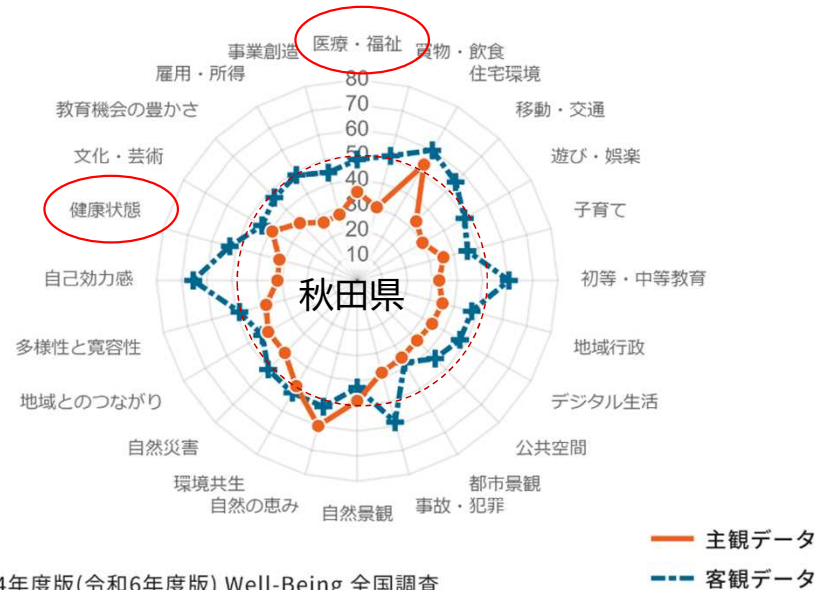
【概要】

- 指標全般的に、都市部の方が、「客観指標」の「暮らしやすさ」の数値（偏差値）が高く、また「主観指標」の「幸福度・満足度」の数値も高い。
- 本県の「客観指標」である「暮らしやすさ」は、他県と比較しても著しく低くくはないものの、「主観指標」である「幸福度・満足度」は低い結果となっている。
- 「医療・福祉」の項目については、東北各県とも「客観指標」は50前後に対して、「主観指標」は40と「満足度」が低い状況となっている。
- 「健康状態」の項目については、本県と山形県では、「客観指標」と「主観指標」の差が大きい。

→「主観指標」を改善するため、県民意識がポジティブとなるような情報発信、理解促進に向けた取組が必要

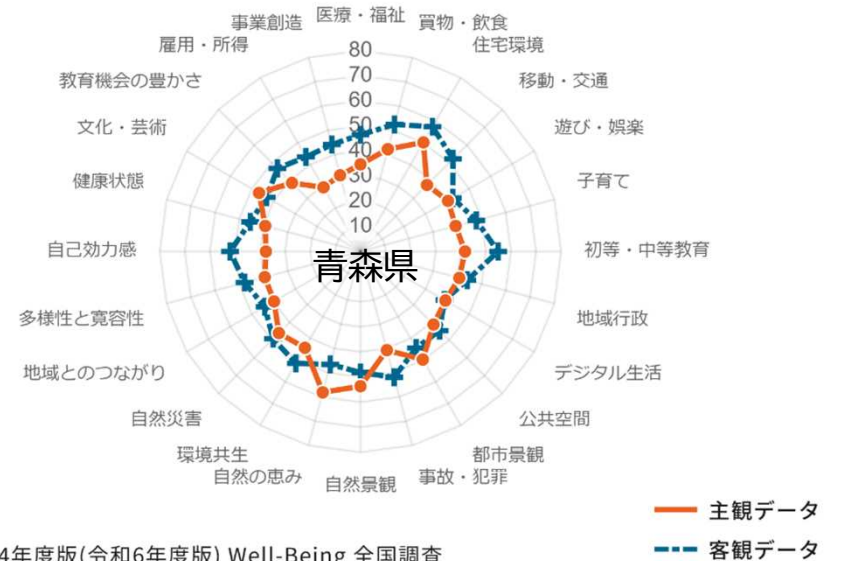
参考．地域幸福度（Well-Being）指標

カテゴリー別



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

カテゴリー別



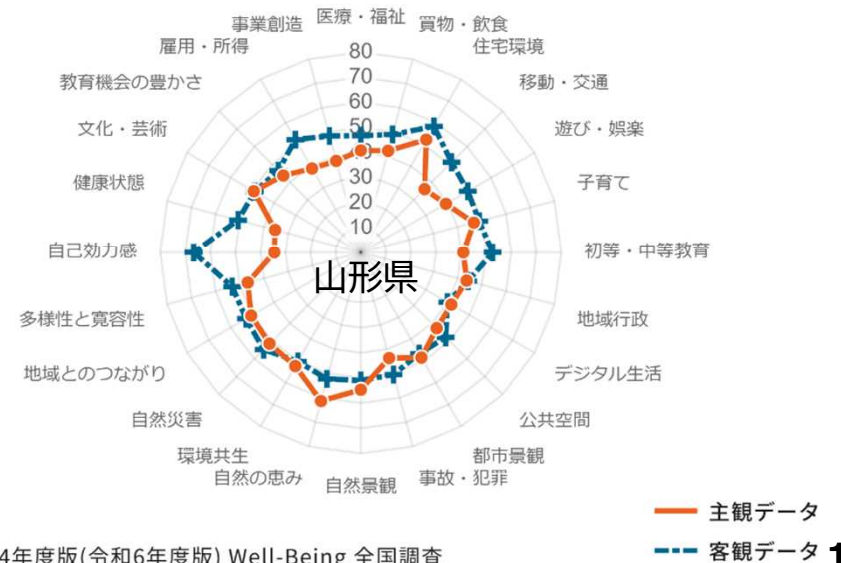
【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

カテゴリー別



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

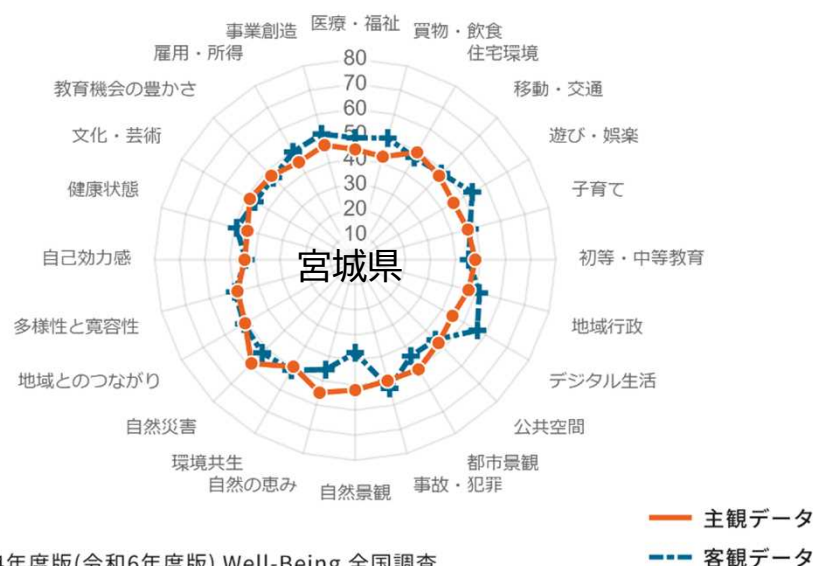
カテゴリー別



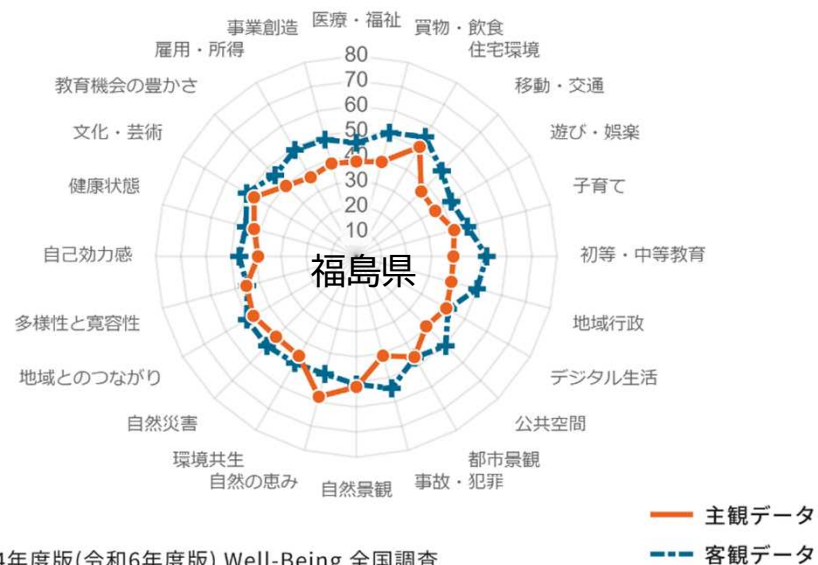
【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 全国調査

参考．地域幸福度（Well-Being）指標

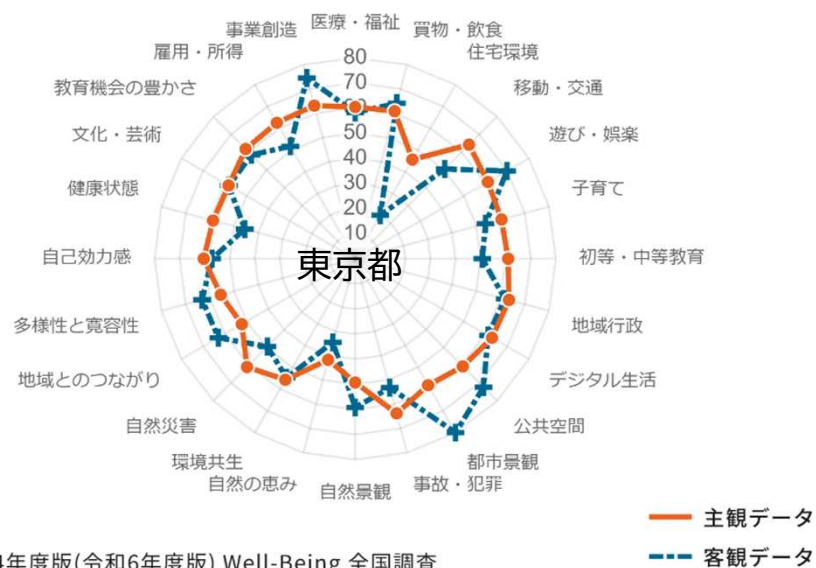
カテゴリー別



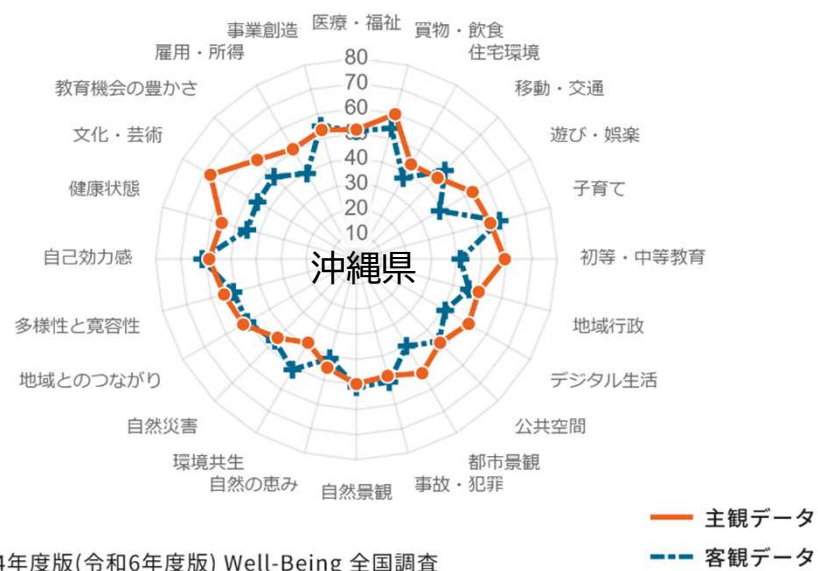
カテゴリー別



カテゴリー別



カテゴリー別



参考．新秋田元気創造プラン（健康福祉部関連）

◀ 健康・医療・福祉戦略 ▶

目指す姿 1：健康寿命日本一の実現

1. 健康づくり県民運動の推進
2. 生活習慣の改善に向けた意識改革と行動変容の促進
3. 特定健診・がん検診の受診の促進
4. 高齢者の健康維持と生きがいづくり

目指す姿 2：安心して質の高い医療の提供

1. 医療を支える人材の育成・確保
2. 地域医療の提供体制の整備
3. 総合的ながん対策・循環器病対策の推進
4. 広大な県土に対応した三次医療機能の整備
5. 新興感染症等に対応できる医療提供体制の確保

目指す姿 3：高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

1. 介護・福祉人材の確保・育成と労働環境の改善の促進
2. 介護・福祉基盤の整備
3. 医療・介護・福祉の連携の促進
4. 高齢者の自立支援と介護予防・重度化防止の推進
5. 認知症の人と家族を地域で支える体制づくり
6. 障害者の地域生活と社会参加に向けた環境づくり

目指す姿 4：誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

1. 包括的な相談支援体制の整備
2. 総合的な自殺予防対策の推進
3. 児童虐待防止対策と里親委託の推進
4. 子どもの貧困対策の推進と生活困窮者の自立に向けた支援
5. ひきこもり状態にある人を支える体制づくり
6. 多様な困難を抱える人への支援

◀ 未来創造・地域社会戦略 ▶

目指す姿 2：結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

3. 安心して出産できる環境づくり